



Marine Snow

@asamushi aquarium

2010

新マリンスノー発刊

館長からのメッセージ

1983年7月のオープンから歳月が過ぎ、今年の7月23日には28年目を迎えようとしています。開館当初、国内でも屈指の大型水族館の完成に青森県内はもとより県外からも多くの見学者が訪れ、あふれかえる人々で館内がパニック状態になるほどだったことを思い出します。昨年末には、オープン以来の入館者数が860万人を越え、年平均30万人以上の入館者を誇る、青森県内でトップクラスの集客施設です。

広報誌「マリンスノー」は、様々な情報や活動を読者に伝え、より多くの人たちに水族館への興味を持っていただくことを目的に、開館2年目の1985年3月に第1号を発刊しました。テーマは「海・川・湖 — その世界とのふれあい」。

「マリンスノー（海雪）」は、海洋コミュニティーにとって必要なエネルギー源であり、その社会の重要な位置をしめる存在です。この広報誌も、読者の皆様にとって豊かな海の情報源としての役割を果たして欲しいという期待を込められた命名でした。

以来、飼育生物の知見やトピックス、行催事、浅虫の海の生物などの紹介等々、広範囲にわたる内容で構成し、保存することによってひとつの水族館ハンドブックにもなるようにと工夫を重ねて参りました。

しかし四半世紀の時を経て、さまざまな情報媒体が発達した現在、例えば、パソコンで浅虫水族館のホームページを検索すれば、情報をいつでも検索することができます。「今、浅虫水族館では・・・」というニュースをリアルタイムに得ることができる時代です。広報誌のあり方について再検討することにしました。PR誌としての要素は必要なのか？ペーパーでなければならないのか？時代の急速な進化と変革の中、より有効な活用方法はないものか模索を重ねました。

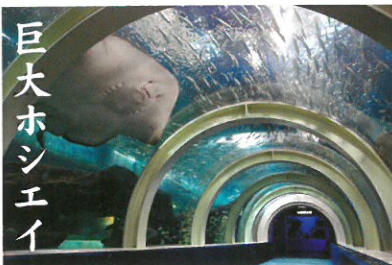
まず、配布先を少し整理し、これまで子供から大人までさまざまな読者を対象にしていたものを、動物園や水族館、研究機関、水産関係者を中心に、一般の方でも理解しやすいようにしていた内容や表現も見直し、専門的な飼育研究成果や知見、情報の提供を目指します。生物の入手・輸送や飼育・展示方法などには、それぞれ園館独自の工夫や違いがありますが、それらの情報を互いに提供し合うことができれば、大切な命ある生き物をより良い状態で育てていくヒントになるものと考えております。

そういった意味から「新マリンスノー」が「広報誌」としてではなく、むしろ「情報誌」としての色合いを強め、多少でも読者の皆様のお役に立つものとなりますようこれからも内容の向上を図り研鑽に勤めて参りたいと思っております。



▲マリンスノー 第1号

26年目のイメージチェンジ



全長15mの大口径アクリル製トンネルを備えた「海洋水槽」は、1983年の開館当時「東洋一のトンネル水槽」と公称され、本県が世界に誇る先進的な展示施設でした。当初の展示内容は、津軽海峡のイシナギ、陸奥湾の大型マダイ、日本海のブリヤアカエイなど、本県でも馴染みのある大型魚を中心とした「迫力ある展示」がメインテーマで、さらに女性ダイバーによる「餌付け」が華を添えていました。



さて、今回のイメージチェンジで目指したテーマは、「躍動する魚群展示」。2009年5月～9月、23回の定置網収集により合計3000尾のマサバとマアジを展示することができました。水面下を疾走する銀色のマサバ、岩陰に群れる金色のマアジ。大型のエイやサメに追われるように様々に形を変える魚群に、緊張感漂う躍動を観ることができます。

イルカを安全に輸送するために

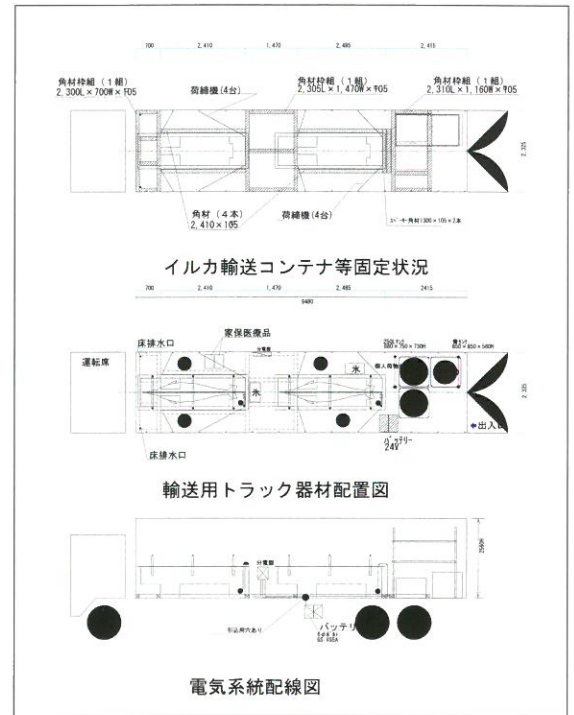
2009年10月15日から10月16日にかけて、バンドウイルカ雌2頭の陸送を実施しました。搬送用トラックにはウイング式13t保冷車を使用し、スタッフの負担を軽減するため、作業は2交代制としました。全体を把握するため主担者1名が全部の行程を受け持ち、その他8名が2班に分かれて半分の行程を担当、中継地点のさいたま市で交代です。和歌山県太地町から青森市までの距離は約1,300km、輸送時間は約26時間という長い旅でした。

これまでの輸送時期は、11月が多く、その年によっては12月や3月、降雪で路面状況が悪化する条件の悪い時期に走ったこともありましたが、10月は今回が初めてでしたが、やはり温暖な時期のため、安定した輸送ができたと思います。走行中2頭共に、心拍、呼吸数、体温など状態が落ち着いており、到着後30分位で正常に泳ぎ始めました。

これまでも輸送のたびに、色々な工夫を重ねてきました。今回は、小型発電機を搭載。これにより、100V用水中ポンプがどこでも使用可能となり、水換えがスムーズにできたことが有効でした。汚れた水を排水し、荷台に積んだタンクから水中ポンプを使用して新鮮な水を補給しました。用意した250ℓタンク3個で1.5回の換水が可能、途中でタンクに淡水の補充を行い、結果、コンテナ2基の水換えを3回実施。

10月という良い時期に恵まれて予想以上に安定した輸送ができましたが、寒冷期輸送の場合、水温が極端に下がってしまいます。以前、途中のサービスエリアでお湯をいただき、バケツリレーしたこともありましたが、

いかにしてコンテナの水温を維持するか、加温システムを確立することが今後の課題です。



保冷車とはいえ、寒冷期の輸送では温度が極端に低くなる場合があります。

レストランこころオープン

1983年の開館以来、浅虫水族館のお客様の飲食は、水族館とは異なる民間会社により建設された「レストハウス」が担ってきました。しかし、2008年、同社から営業を終了するとの意思表示があり、これを受けた水族館の事業主体である青森県は、既存の施設を使用した営業の継続も含めたさまざまな検討を行ないました。その結果、水族館棟内の一部を改造しレストランを開店することを決定し、2009年8月のオープンを目指して工事に着手、「レストハウス」は3月に撤去されました。

オリジナルメニュー こころランチ



2種類のお肉（ポーク・チキン）とパスタが特製ソースで楽しめます。

2009年5月、青森県は一般公募により、レストランを運営するテナントの募集を開始。浅虫水族館の指定管理者である当社は、展示やイベントとの関連性を高めたレストランサービスを提供することを目的に、これに応募。そして、2009年6月、テナントに指名されました。

店名は、浅虫水族館のマスコットキャラクター「こころ」と同じ「レストランこころ」。ファミリーが楽しめる水族館のレストランをコンセプトに準備作業に入りました。当社は、浅虫水族館指定管理者の応募資格を得るために、水族館職員（当時は、公益法人職員）が出資して2005年に設立した会社です。これで水族館と付帯設備の運営は、ほぼ自前で行うこととなりました。ゼロからのスタートでしたが、試食会などを経て、浅虫水族館の開館記念日7月23日にオープンしました。

● 2009年の催し物

	Winter		3月	Spring		5月	Summer		8月	9月	Autumn		11月	Winter
	1月	2月		4月			7月				10月			12月
裏方見学会				★裏方見学会 土日開催			★裏方見学会 土日開催		★裏方見学会 土日開催		★裏方見学会 土日開催		★裏方見学会 土日開催	★裏方見学会 土日開催
Jr.クラブ							★Jr.クラブ 6/7 イルカウォッチング	★Jr.クラブ 7/26 地引網体験		★Jr.クラブ 9/6 磯観察			★Jr.クラブ 11/29 イルカトレーナー体験	
コンクール	★版画展 1/1~3/31			★写真展 2/1~3/31						★図画展 10/10~12/30				
魚の 日替わり定食		★海水魚 ガイド ツアー 第1・3土曜日			★ウミガメ給餌 土日開催		★トンネル水槽 給餌 土日開催		★ウミガメ給餌 土日開催		★トンネル水槽 給餌 土日開催		★トンネル水槽 給餌 土日開催	
恒例イベント	★新春祭り in あさむし水族館 1/1~18 ・ホタテの ヨットレース 1/2・3・4 ・餅つき大会 1/1 ・こごとと遊ぼう 1・2・3・4 10・11・12日 ・わいわい広場 期間中		★春祭り inあさむし水族館 3/1~4/5 ・裏方見学会 期間中の土曜日 ・卒業旅行は ペンギンと 記念写真を撮ろう 期間中 ・イルカふれあい体験 期間中の日曜日	★桜祭り in あさむし水族館 4/25~5/6		★夜の水族館 見学会 毎週土曜日	★夏祭り in あさむし水族館 7/18~8/30	★わくわく ドキドキ 探検隊 「水族館に泊まろう」 7/5・11~12	★夜の水族館 見学会 毎週土曜日	★秋祭り in あさむし水族館 10/31~11/23				
今が旬水槽	★正月水槽 1/1~1/18			★「北国の春」水槽 4/18~5/10			★「津軽錦」展示 7/11~8/16						★クリスマス水槽 11/17~12/25	
特別企画展				572億円！海からの恵み 4/25~6/21			体感水族館！ 7/18~8/30			昼に見る「夜の水族館」 9/19~11/29				

● 飼育生物

	種類			点数		
	種	増	減	数	増	減
海水魚	227	2	3	5,186	7	80
淡水魚	112	0	1	3,025	1	10
無脊椎動物	113	7	4	2,316	66	133
両生類	14	0	0	86	0	9
爬虫類	3	0	0	11	0	0
イルカ	2	0	0	10	0	0
アシカ	1	0	0	5	0	0
アザラシ	1	0	0	2	0	0
ペンギン	2	0	0	14	0	0
ラッコ	1	0	0	2	0	0
合計	476	9	8	10,657	74	232

2009年12月31日現在

■ トピックス

- ・5~9月、約3,000尾のマアジ、マサバを収集
- ・10/16、バンドウイルカ2頭搬入



リュウグウノツカイ

2009年1月22日、青森湾で捕獲され当館に搬入、すでに死亡していました。2月15日、一日限りですが雪で台を設営し展示公開しました。

● 入館者数

	一般	団体	無料	合計
1月	9,878	711	3,088	13,677
2月	6,770	718	2,341	9,829
3月	13,925	1,003	4,360	19,288
4月	14,827	1,501	3,951	20,279
5月	38,734	2,599	8,849	50,182
6月	12,215	8,709	6,479	27,403
7月	20,021	6,430	8,218	34,669
8月	48,875	2,870	10,520	62,265
9月	23,488	5,174	7,195	35,857
10月	11,736	3,466	4,975	20,177
11月	9,057	1,360	2,814	13,231
12月	5,457	730	1,842	8,029
合計	214,983	35,271	64,632	314,886

■ トピックス

- ・3~11月(GW・お盆を除く)、県外からのETC休日特別割引利用者への入館料割引
- ・9/19~9/23、秋の大型連休
- ・秋~年末、新型インフルエンザ大流行

マリンスノー No. 29

2010年3月発行

青森県営浅虫水族館

〒139-3501 青森市浅虫字馬場山1の25

TEL 017-752-3377

FAX 017-752-3379

http://www.asamushi-aqua.com